

令和2年度(2020年度) 第1回 函館市地域学校協働活動連絡会議 会議録

日時	令和2年8月6日(木) 10:00~12:00
場所	函館市役所8階第2会議室
参加人数	菊池委員, 金澤委員, 酒井委員, 吉村委員, 中村委員, 神田委員, 牧野委員, 廣島委員(8名)
事務局	事務局 辻 俊 行(教育長) 松 田 賢 治(学校教育部長) 瀬 戸 義 夫(教育政策推進室長) 佐 藤 大 輔(学校再編・地域連携課 課長) 井 本 大 士(" 主査) 佐 原 真 季 子(" 主事)
傍聴	なし

1 開 会

(事務局)

ただいまから、令和2年度第1回函館市地域学校協働活動連絡会議を開催いたします。本会議におきましては、お集まりいただいた皆様につきまして、本日8月6日付けで、函館市教育委員会の地域コーディネーターとしての委嘱と、地域コーディネーターの皆様にご就任いただく本会議の委員としての委嘱を行うとともに、事務局からの説明後、現状取り組んでおられる皆様の活動について伺いながら、本市の地域学校協働活動推進活動の今後の方向性等について、検討を行いたいと考えております。

また、今回の会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、間隔をあけた座席配置、換気の徹底、マスクの着用、入口でのアルコールによる手指の消毒などの取り組みを実施し、開催しているところであります。

つづいて、会議の公開についてですが、冒頭次第1の「開会」から次第5の「座長の選出」までを「公開」とし、次第6以降の議事については、函館市情報公開条例第26条ただし書の規定により、「公開」とした場合、公正かつ円滑な議事運営に支障が生じる可能性があることを考慮し、「非公開」とさせていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(委員)

—異議なし—

(事務局)

また、冒頭次第1から次第5までの公開部分につきましては、報道機関による写真撮影も認めたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(委員)

－異議なし－

(事務局)

本日の会議の進行につきましては、「函館市地域学校協働活動連絡会議設置要綱」第6条第2項の規定に基づき、座長が会議の議長となることとなっておりますが、懇談会設置後、初めての会議となることから、座長が選出されるまでの間、事務局で進行役を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 委嘱状交付

《教育長から、地域コーディネーターの委嘱状を交付》

3 教育長あいさつ

(教育長)

皆さんおはようございます。事務的な手続をご説明した上で始めなければならないことから、少し堅苦しい形で進めさせていただいています。お付き合いいただいて、ありがとうございます。あらためましてご挨拶させていただきます。皆さんにおかれましては日頃から、各学校・地域の活動などを、本日から地域コーディネーターという職を担っていただくわけですが、以前から、そういった活動にご尽力いただいております。ありがとうございます。またこのたびは、コミュニティ・スクールの一層の充実を目指すということで、函館市初の地域コーディネーターの職および連絡会議委員の就任にご承諾いただき、そして本日も会議にご出席いただき、ありがとうございます。元来、コミュニティ・スクールの活動・地域学校協働活動などは、それぞれの地域の自主性により行うもので、それぞれ創意工夫をして行っただけであれば良いわけですが、情報の交換はきわめて重要でありますので、一層コミュニティ・スクールの活動を充実していくために、こうした会議の場が必要だろうと考えまして、設定させていただいております。

当然、早い時期にこうした会議をスタートさせ、各学校の活動につなげていきたかったわけですが、こうした状況の中で、担当職員もいち早くやりたいということで、ずいぶん前から準備はしていたのですが、いつ行ったらいいものかと悩みもありまして、2学期を迎える前に行いたいとなりまして、こうした遅い時期の委嘱・開催となってしまいまして、お詫び申し上げます。

函館市におけるこれまでのコミュニティ・スクールのこれまでの経緯についてあらためて申し上げますと、平成28年度、五稜郭中学校1校にはじめて導入を行いました。これは市内初である大型の中学校の統廃合に係わって、3つの中学校が一つになったことをきっかけに、より一層地域に支えていただくということを主眼として、五稜郭中学校を指定したところであります。平成29年度には、新規の指定は行いませんでしたが、小中一貫の取り組みをかなり進めました。小中それぞれ教育目標というのが

あるのですが、中学校区ごと小中で共有し、教員同士の結びつきを深めたところです。平成30年度には、約7割の学校にコミュニティ・スクールを導入し、さら令和元年度100%の導入となりました。そして今年度、地域コーディネーターの委嘱によりやくたどり着いたところであり、大きな一歩だと考えています。

市長を交えた総合教育会議という場があるのですが、そこでもコミュニティ・スクールの活動を紹介させていただき、市長部局にも強く認識していただいたところです。今年度の市政執行方針の中では3つの柱が示されたところではありますが、一つは町会活性化。高齢化の中で町会加入者が増えないという現状がありまして、町会の活性化が課題となっているところです。もう一つの課題は福祉拠点の充実、三つめは、コミュニティ・スクールの推進となっており、教育の枠を超えて、市政全体として捉えているところでもあります。今後は、各地域で、さらに取り組みを進めていただき、お互い情報交換していただきながら、より良いものにしていきたいと考えております。函館市として一体感のある地域学校協働活動が進んでいけばうれしく思います。

今年度は、8つの地域学校協働本部を立ち上げていくわけですが、いずれ市内多くの地域に地域コーディネーターが配置されていけば良いと思いますが、行政としては上から枠をはめて、地域コーディネーターを置きなさいと無理矢理進めるということはしたくないと考えています。皆様のご了解をいただき、お引き受けいただいた中で、まずは自然な形で進めていきたいというのがありました。先に進んでいけば、この8地域が核になっていき、取り組みが他の地域に広がっていくものと考えています。本来のお仕事や生活などがある中で、新たなお仕事をお願いする場面もあるかもしれませんが、地域一体となって函館の子どもを育てていくためには、大切な活動だと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

4 委員・事務局紹介

5 座長の選出

(事務局)

それでは座長の選出について、委員の皆様にお諮りいたしますが、いかがいたしましょうか。よろしければ、事務局から提案させていただきたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(委員)

－異議なし－

(事務局)

異議がないようなので、事務局から提案させていただきます。座長につきましては、函館市教育委員会の学校教育指導監で、青柳中学校・青柳小学校・弥生小学校・あさひ小学校の地域コーディネーターであります菊池委員をあてたいと考えております

が、いかがでしょうか。

(委員)

－異議なし－

(事務局)

それでは、皆様にお諮りします。座長に、菊池委員にご就任いただくことにつきまして、ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

(委員)

－承認（拍手）－

(事務局)

ご承認いただきありがとうございます。それでは、菊池座長、一言、ごあいさつをお願いいたします。

(座長)

皆さんおはようございます。皆さんとお会いするのを、本当に首を長くして待っていたというのが正直なところです。昨年度、各学校を訪問し、いろいろな貴重な情報をご提供いただきました。昨日中堅教員の研修会があったのですが、皆様からいただいた情報を実践内容として紹介させていただきました。あとで何かありましたら、一言添えていただければありがたいと思っております。今年度、なかなか思うように前に進みませんが、皆様と力を合わせてコミュニティ・スクールを中心に組み込んで参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

6 今後の方向性等に係る検討 － 非公開 －

7 開 会

(事務局)

以上をもちまして、令和2年度第1回函館市地域学校協働活動連絡会議を終了いたします。本日はありがとうございました。